



JQA-2631 (全社附屬塗料)
JQA-EM3548 (本社工場)

JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
認証番号 JP0508057



ホルムアルデヒド放散等級
JP F☆☆☆☆

鉛・クロムフリー

ボウジントックス

厚膜2液型ポリウレタン樹脂塗料 タフタイトU



環境配慮型

耐衝撃性

クラック追従性



PLACE

- 運搬車両使用工場
- 化学薬品工場・印刷工場
- 食品工場 (クリーンルーム)
- 自動車修理工場
- 給食室
- 機械工場
- 屋内パーキング
- 車両通行通路

環境配慮型、耐衝撃性、クラック追従性

ウレタン樹脂の優れた特性を引き出した、環境に優しく、硬質でかつ強靱さと耐久性を併せ持つ新しいタイプの塗り床材です。タフタイトUは耐衝撃性、耐擦り傷性、耐薬品性に優れ、各種工場・倉庫等のフォークリフト走行による過酷な使用で耐久性が求められる床に機能を発揮します。また、高硬度でありながら伸び弾性を備え、コンクリート床のクラック追従性があり、割れ防止を求められる食品工場・給食室等の床に最適です。



PLACE



運搬車両使用工場



化学薬品工場・印刷工場



食品工場



自動車修理工場



給食室



機械工場



屋内パーキング



車両通行通路

特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は
規制対象外となっている

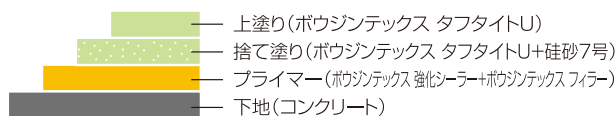
1. 特定化学物質や環境ホルモン(フタル酸系可塑剤)は含まれていない、人と地球にやさしい塗り床材
2. 高硬度でありながら柔軟性に富んだ塗膜で、衝撃に強く割れにくい
3. 高硬度でありながら伸び弾性があり、ヘアークラック等小さなクラックに追従
4. ポリウレタン樹脂系でありながら、エポキシ樹脂系塗り床材に匹敵する高硬度を有する
5. 耐摩耗性及び耐久性に優れるため、フォークリフト等重量物の運行にも長期間耐える
6. 仕上がりは継ぎ目がなくシームレス、光沢のあるカラフルな床面を演出
7. 耐酸性・耐アルカリ性に優れる
8. 刺激臭のある物質を含まないので、施工時・施工後も臭いが気にならない

用途

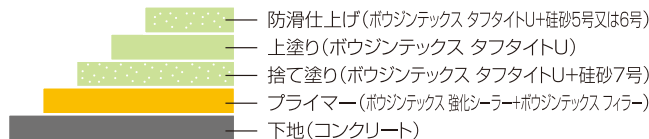
1. 各種工場、倉庫、配送センター等の**重量物運搬**による過酷な耐久性を求められる床
2. 食品工場、食堂等の**耐薬品性、耐汚染性、清潔**を保つための割れ防止を求められる床
3. 自動車整備工場、機械工場等の**工具・材料の落下**による耐衝撃性を求められる床
4. 駐車場、通路等の**車の走行**で耐久性を求められる床

塗装工程 流しのべ工法 (膜厚1.5~2mm)

●平滑仕上げ



●防滑仕上げ



塗装仕様

1. 流しのべ工法・平滑仕上げ(膜厚:約1.5mm)

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
プライマー	ポウジンテックス 強化シーラー 16kg ポウジンテックス フィラー 2kg	ハケ ローラー	1	0.14~0.18 (フィラー含む)	100~129	—	—	4h以上 24h以内	—
(プライマー) 2回目	ポウジンテックス 強化シーラー 16kg	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
捨て塗り	ポウジンテックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg 珪砂7号6kg	金ゴテ	1	0.5~0.6 (珪砂含む)	40~48	20分	—	12h以上 24h以内	—
上塗り	ポウジンテックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ	1	1.4~1.5	12~12.9	20分	—	—	16h以上 完全硬化7日以上

※プライマー工程において、下地の吸い込みがはげしい場合は、フィラーなしの強化シーラーを再度塗装して下さい。

2. 流しのべ工法・防滑仕上げ(膜厚:約2.0mm)

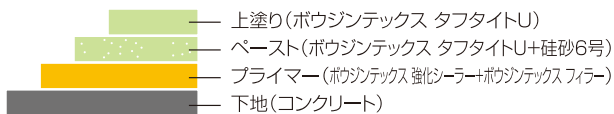
工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイトンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
プライマー	ポウジンテックス 強化シーラー 16kg ポウジンテックス フィラー 2kg	ハケ ローラー	1	0.14~0.18 (フィラー含む)	100~129	—	—	4h以上 24h以内	—
(プライマー) 2回目	ポウジンテックス 強化シーラー 16kg	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
捨て塗り	ポウジンテックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg 珪砂7号6kg	金ゴテ	1	0.5~0.6 (珪砂含む)	40~48	20分	—	12h以上 24h以内	—
上塗り	ポウジンテックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ	1	1.4~1.5	12~12.9	20分	—	12h以上 24h以内	—
防滑仕上げ	ポウジンテックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ ローラー	1	0.5	36	20分	—	—	16h以上 完全硬化7日以上
上塗り塗装と同時に5~6号珪砂(0.3~0.4kg/m ²)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

※プライマー工程において、下地の吸い込みがはげしい場合は、フィラーなしの強化シーラーを再度塗装して下さい。

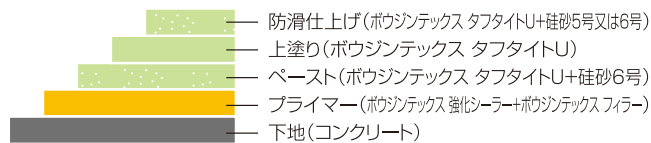
- モルタルは、コンクリートに比べてクラックの影響を受けやすく仕上がりが悪くなる場合があります。
- モルタルに施工される場合は、営業担当者にご相談下さい。

塗装工程 ペースト工法 (膜厚2.5~3mm)

●平滑仕上げ



●防滑仕上げ



塗装仕様

3. ペースト工法・平滑仕上げ(膜厚:約2.5mm)

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗面積 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
プライマー	ボウジントックス 強化シーラー 16kg ボウジントックス フィラー 2kg	ハケ ローラー	1	0.14~0.18 (フィラー含む)	100~129	—	—	4h以上 24h以内	—
(プライマー 2回目)	ボウジントックス 強化シーラー 16kg	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
ペースト	ボウジントックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg 珪砂6号9kg	金ゴテ	1	2.0 (珪砂含む)	13.5	20分	—	12h以上 24h以内	—
上塗り	ボウジントックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ	1	1.4~1.5	12~12.9	20分	—	—	16h以上 完全硬化7日以上

※プライマー工程において、下地の吸い込みがはげしい場合は、フィラーなしの強化シーラーを再度塗装して下さい。

4. ペースト工法・防滑仕上げ(膜厚:約3.0mm)

工程	使用塗料	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。								
プライマー	ボウジントックス 強化シーラー 16kg ボウジントックス フィラー 2kg	ハケ ローラー	1	0.14~0.18 (フィラー含む)	100~129	—	—	4h以上 24h以内	—
(プライマー 2回目)	ボウジントックス 強化シーラー 16kg	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	4h以上 24h以内	—
ペースト	ボウジントックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg 珪砂6号9kg	金ゴテ	1	2.0 (珪砂含む)	13.5	20分	—	12h以上 24h以内	—
上塗り	ボウジントックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ	1	1.4~1.5	12~12.9	20分	—	12h以上 24h以内	—
防滑仕上げ	ボウジントックス タフタイトU 主剤14kg 硬化剤4kg	金ゴテ ローラー	1	0.5	36	20分	—	—	16h以上 完全硬化7日以上
上塗り塗装と同時に5~6号珪砂(0.3~0.4kg/m ²)を均一に散布し、直後にもう一度ローラーを転がす。									

※プライマー工程において、下地の吸い込みがはげしい場合は、フィラーなしの強化シーラーを再度塗装して下さい。

性能

試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる ガラス板に塗付1000 μ m, 60度	85
硬 さ	JIS K 7215(NNK-009) デュロメータータイプD	D72 \pm 2
付着強さ (N/mm)	NNK005 建研式接着試験器	2.5以上 (材料破壊)
耐衝撃性	NNK-002 鋼球落下式1kg \times 1m, 30回	合格
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる 摩耗輪CS-17 荷重500g \times 2, 1000回転	45 \pm 5
引張強さ (N/mm)	JIS K 6251(NNK-008)に準ずる	20 \pm 1
破断時伸び (%)	JIS K 6251(NNK-008)に準ずる	50 \pm 5
吸水率 (%)	JIS K 7209に準ずる	0.3以下
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 水道水に30日間浸漬	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 50 $^{\circ}$ C温水に48時間浸漬	異常なし
耐沸騰水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 沸騰水に2時間浸漬	異常なし
ホルムアルデヒド放散量	JIS K 5970 デシケーター法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

(NNK-000:日本塗料工業会試験方法)

耐薬品性 試験方法: JIS K 5705に準じ48時間スポット試験

薬品	結果	薬品	結果	薬品	結果
塩酸10%	◎	乳酸10%	○	灯油	◎
塩酸30%	○	乳酸30%	○	ガソリン	○
硫酸10%	◎	アンモニア水10%	◎	エンジンオイル	○
硫酸30%	◎	アンモニア水30%	◎	エタノール	△
硝酸10%	○	NaOH 10%	◎	トルエン	△
硝酸30%	△	Ca(OH) ₂ 飽和	◎	キシレン	△
酢酸10%	○	次亜塩素酸Na 1%	◎		
酢酸30%	○	クレゾール石鹼水 10%	△		

評価 ◎:異常なし ○:適正有り △:すぐに処理をするのであれば可 ×:使用不可

硬化時間

気温	可使時間	歩行可能時間	完全硬化
30 $^{\circ}$ C	15分	8時間	5日以上
23 $^{\circ}$ C	20分	16時間	7日以上
10 $^{\circ}$ C	35分	24時間	10日以上

冬期施工用、硬化促進剤もご用意しています。
詳細は弊社営業担当者にお問い合わせください。

荷姿

上塗材

ボウジンテックス タフタイトU 18kgセット
(主剤14kg/硬化剤4kg)

下塗材

ボウジンテックス 強化シーラー 16kg \cdot 4kg

希釈剤

ボウジンテックス タフタイトU専用希釈剤 4L \cdot 1L
ボウジンテックス タフタイトU硬化促進剤 4L \cdot 1L

副資材

ボウジンテックス フィラー 5kg

注意事項

1. ボウジンテックス タフタイトUは水分(地下水、空気中水分)と敏感に反応(硬化剤と水の反応で炭酸ガスが発生)して発泡を生じますので、下地コンクリートの乾燥養生期間(夏季30日以上、冬季40日以上)を厳守し、湿度80%以下、温度5~30℃の条件下で施工してください。
2. コンクリートへのプライマー施工では、ボウジンテックス 強化シーラーにボウジンテックス フィラーを混入して攪拌しながら塗装してください。又、吸い込みの激しい場合は、フィラーなしの強化シーラーを再度塗装してください。
3. 主剤・硬化剤の混合は、回転数500rpm以下の低速攪拌機(3羽羽プロペラタイプ装着)を使用し、巻き込み泡が無いよう注意し、十分に攪拌してください。(缶の端に混ざらないネタがあると硬化不良になります。)
4. 上塗り施工に関しては、巻き込みの泡を脱泡させながら塗り広げ、塗り広げた面は、何度もコテ返しを行わないようにしてください。(発泡を生じる事になります。)
5. 規定塗分量以下ではフクレを生じることがあります。最終上塗りは1回で1.4~1.5kg/m² 塗付を厳守してください。
6. 攪拌後は速やかに被塗面に流してください。
7. 捨て塗りは巣穴にすり込むようにしごき塗りをしてください。
8. 防滑仕上げに使用する珪砂は、5号または6号を使用してください。混合した上塗りを金ゴテで広げた後、ローラーにて面を整えてください。
9. クラック処理や目止めでミルコンを使用する際には、開封していないミルコンを使用してください。(古いミルコンは水分を含んでおり、発泡の原因となります。)
10. 開封した材料はその日のうちに使い切るようにしてください。
11. 旧塗膜がある塗替え仕様については弊社営業担当者までお問合せください。
12. 施工時は火気厳禁、また溶剤中毒に十分に注意してください。
13. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れたり、硬化不良をおこす場合があります。
14. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
15. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
16. 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。又、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
17. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
18. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
19. 材料の保管・取り扱いは消防法、労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。
20. 静電気をさらう床には施工しないでください。
21. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



水谷ペイント株式会社

本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-8770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00~12:00 午後 1:00~3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。